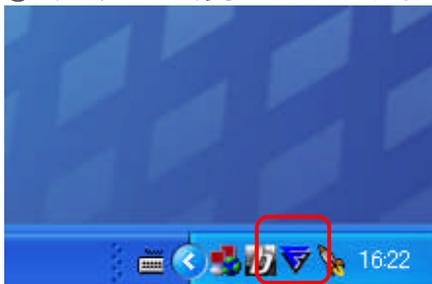


PPTP利用の際のF-Secureの設定

リモートアクセスでPPTPを利用する場合、接続時にエラー721が表示されることがあります。その場合、F-SecureのGREのポートを解放する必要があります。

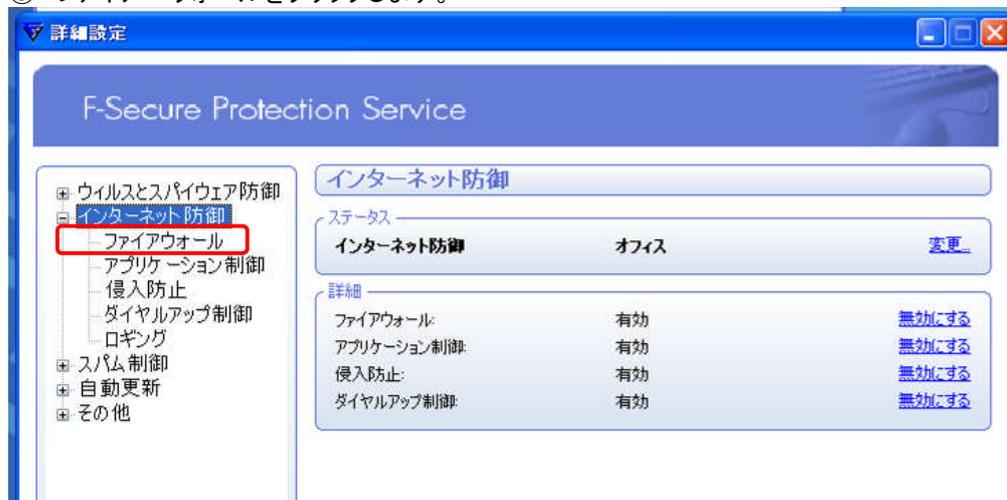
- ① タスクバーにあるF-Secureのアイコンをクリックし、管理画面を開きます。



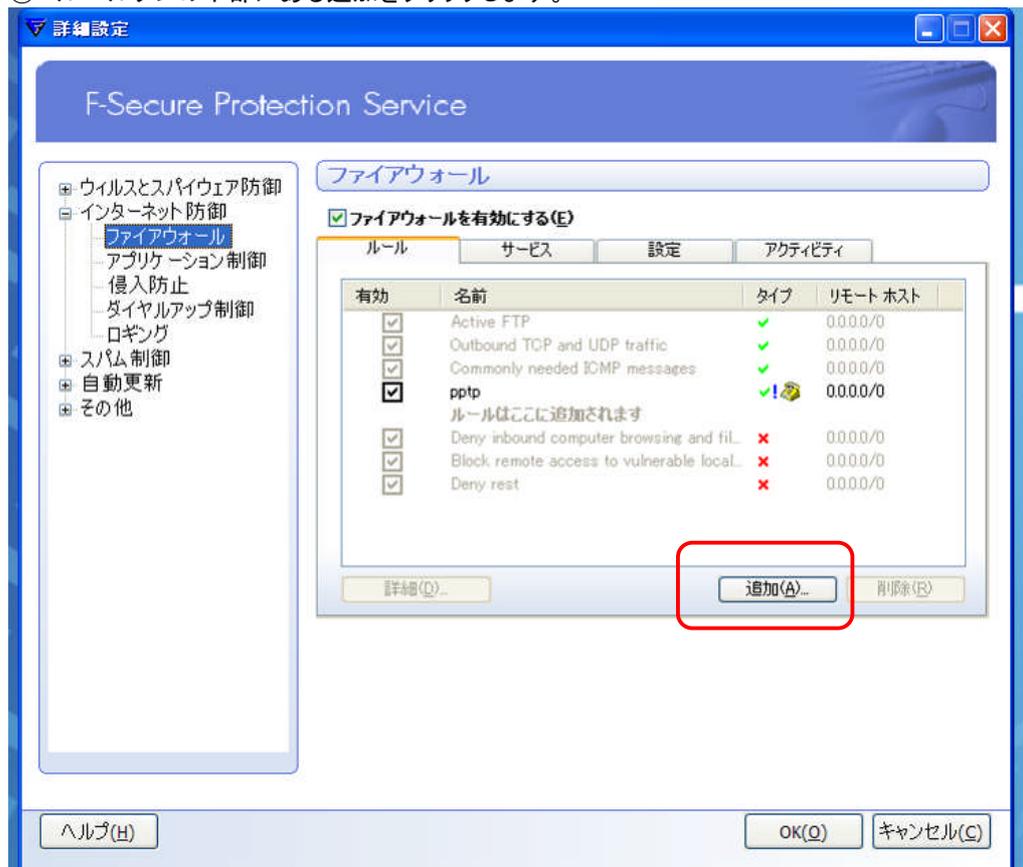
- ② 左メニューのインターネット防御をクリックします。



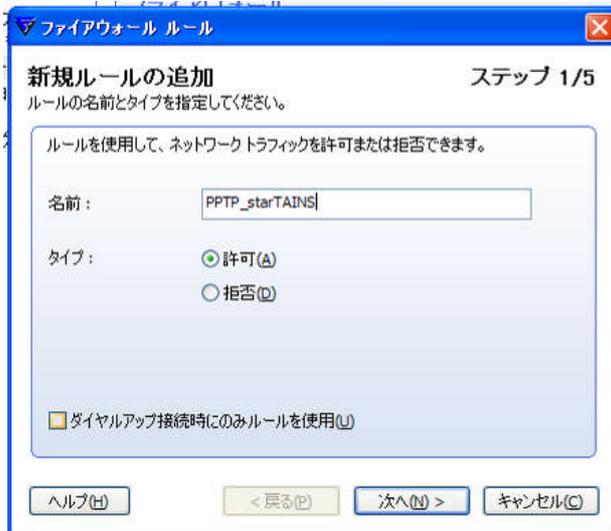
③ ファイアーウォールをクリックします。



④ ルールタブの下部にある追加をクリックします。



- ⑤ 名前には、使用目的が分かる名称を入力し、タイプが“許可”が選択されていることを確認し、次へをクリックします。



ファイアウォール ルール

新規ルールの追加 ステップ 1/5

ルールの名前とタイプを指定してください。

ルールを使用して、ネットワークトラフィックを許可または拒否できます。

名前: PPTP_starTAINS

タイプ: 許可 (A)
 拒否 (D)

ダイヤルアップ接続時のみルールを使用 (U)

ヘルプ (H) < 戻る (P) 次へ (N) > キャンセル (C)

- ⑥ デフォルトのまま、次へをクリックします。



ファイアウォール ルール

新規ルールの追加 ステップ 2/5

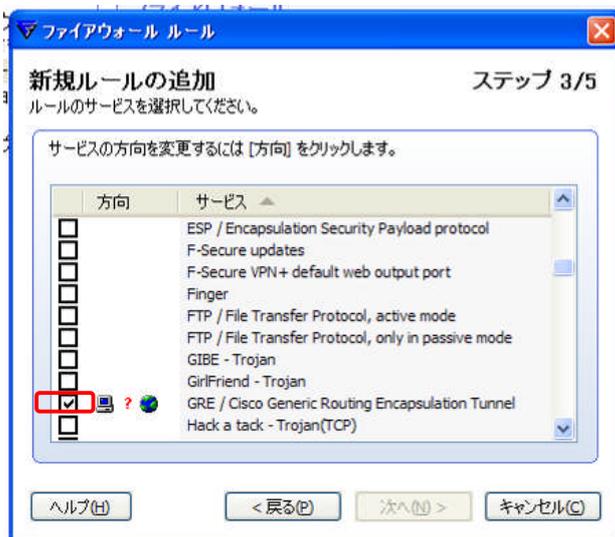
ルールの IP アドレスまたは IP アドレスの範囲を選択してください。

ルールをすべての IP アドレス、または特定のアドレスに適用できます。

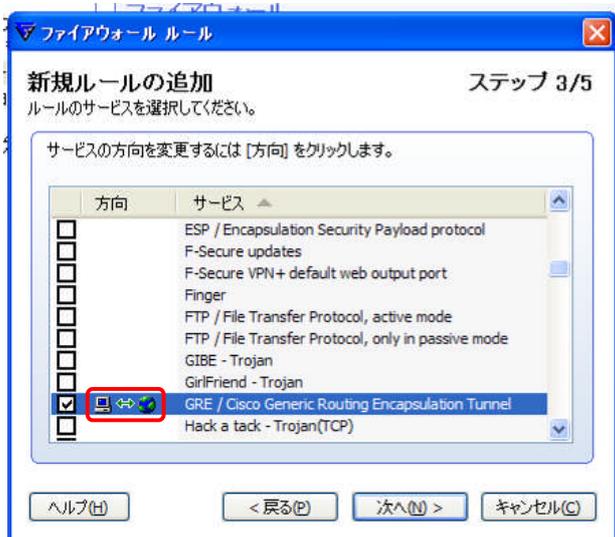
IP アドレス / 範囲: 任意の IPv4 アドレス
 カスタム設定: 編集 (E) ...

ヘルプ (H) < 戻る (P) 次へ (N) > キャンセル (C)

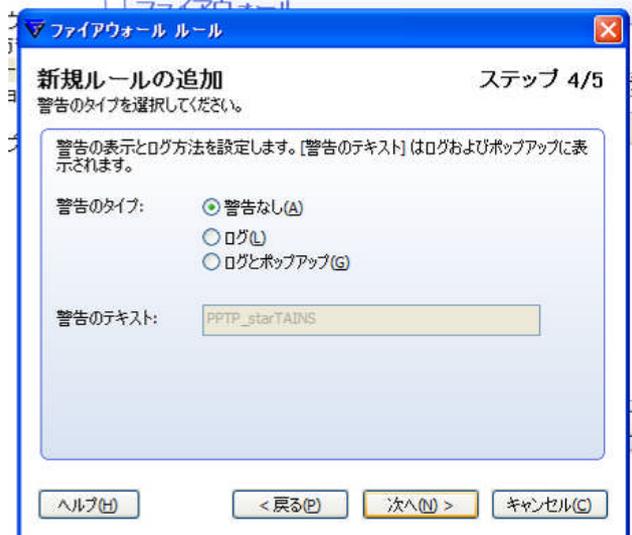
- ⑦ GRE / Cisco Generic Routing Encapsulation Tunnelを選択します。
(MS PPTPと同じPort47を利用しているため)



- ⑧ 端末のアイコンと地球のアイコンの間の？を押下すると双方向の矢印が表示されるのでその状態で次へをクリックします。



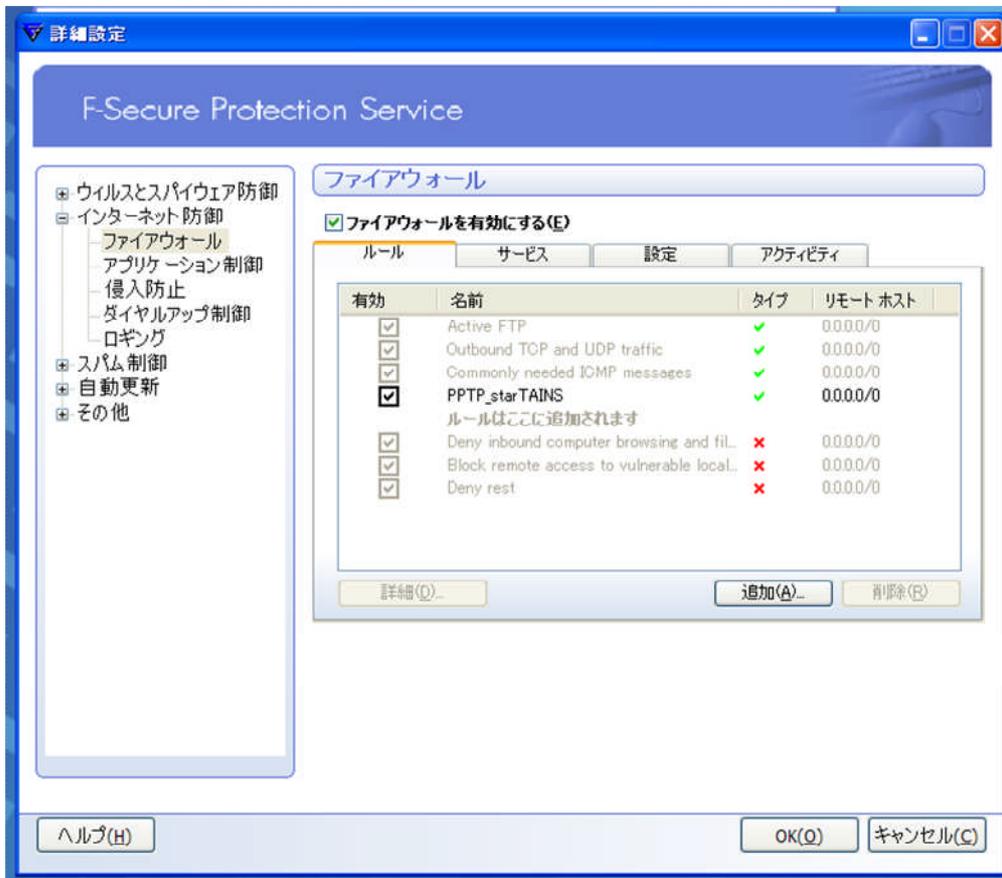
- ⑨ デフォルトのまま次へをクリックします。



- ⑩ 設定が下図のようにになっていることを確認し完了をクリックします。



⑪ 最初に入力した名前のルールができていることを確認しOKをクリックします。



以上で、F-Secureの設定は完了です。